

2017年10月11日

株式会社パスコ

(報道資料)

「カワイイ、キレイ、カッコイイ」地図を簡単に作成 オープンデータ推進を支援する Mappin' Drop® (マッピングドロップ)のデモサイトを公開

株式会社パスコ（本社：東京都目黒区、代表取締役社長：古川 顕一、以下：パスコ）は、創業以来、航空写真測量による高精度な地図制作、GIS を活用した業務支援システムなど地図を活用した空間情報の総合企業として、国や自治体、企業向けのサービスなど多種多様な空間情報事業を展開しています。

このたび、本年5月23日に発表（※1）いたしました、オープンデータとして公開された地形図を、色とりどりの案内地図に編集して利用できるサービス「Mappin' Drop®（マッピングドロップ）」について、デモサイトを構築、G 空間 EXPO2017 の開催に合わせ10月12日より一般に公開いたします。

Mappin' Drop®

サービス紹介：

<http://www.pasco.co.jp/MappinDrop/index.html>

デモサイト：

<http://mappindrop.info-mapping.com/MappinDrop/>

(体験可能範囲は東京近郊のみ)



インターネットを中心とした ICT の進化により、行政活動においても、様々な情報がデジタル化され、蓄積されています。そして、この蓄積された行政データをビジネスに活用することの期待が高まっています。こうした背景から、政府は透明性・信頼性の向上、国民参加・官民協働の推進、経済の活性化・行政の効率化及び住民サービスの向上を目的に、行政が保有する二次利用可能な情報のオープンデータ（※2）化を推進しています。

Mappin' Drop® は自治体がオープンデータ化している位置情報を搭載することができます。本サービスをご利用いただくことで、住民はオープンデータ活用社会を実感し、様々な社会活動で自由に地図が作れるようになります。そして、住民が作成した地図画像のダウンロードが増えるほど、オープンデータの価値は高まると考えています。

パスコは本サービスを通じて、自治体におけるオープンデータ化の促進と活用を支援してまいります。

※1：2017年5月23日 報道発表 自治体のオープンデータ活用を支援 オリジナル地図作製サービス「Mappin' Drop®（マッピングドロップ）」を提供開始 (<http://www.pasco.co.jp/press/2017/download/PPR20170523J.pdf>)

※2：オープンデータ…政府や地方公共団体などが保有する公共データが、①「二次利用可能なルールの下」で、②「機械判読に適した形」で公開されること

■ Mappin' Drop® 活用自治体

千葉県 長柄町 様： <http://www.town.nagara.chiba.jp/>

千葉県 茂原市 様： <http://www.city.mobara.chiba.jp/0000004248.html>

静岡県 御前崎市 様： <http://www.city.omaezaki.shizuoka.jp/somu/shise/johosesaku/mappindrop1.html>

鹿児島県 鹿児島市 様： <https://www.city.kagoshima.lg.jp/iousys/opendata.html>

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社パスコ

(報道機関) 広報部

TEL : 03-3715-1048

(お客様) カスタマーセンター

TEL : 0120-494-800

お問い合わせフォーム

<http://www.pasco.co.jp/contact/>

プレスリリースの内容は発表時のものです